

(5) 奈良中心市街地の交通対策

奈良中心市街地には、世界遺産「古都奈良の文化財」などの重要な史跡や文化財が多数点在し、多くの観光客が訪れています。一方で、観光シーズンの土日祝日等には、車での来訪が増え、中心市街地での交通渋滞や環境悪化といった課題があります。

そこで、より多くの方に奈良を楽しんでもらいながら、中心市街地の渋滞緩和・環境負荷低減を両立するため、電車やバスなどの公共交通機関で訪れてもらうよう呼びかけるとともに、自動車での来訪者に対しては、パーク＆ライドの取組を行っています。さらにぐるっとバスの運行や木簡型のバス一日乗車券の発行、バスの位置情報を提供するバスロケーションシステムの導入など、公共交通で奈良市内を満喫してもらうための事業を実施しています。

バスロケーションシステムによるバス情報の提供



▲モニターやスマホでバスの位置情報や観光情報を提供
(平成29年秋の実施例)
※平成29年秋の試験運用実施時の画面であり、本格運用画面とは異なります。

パーク＆ライドに関する路上における情報提供



▲道路情報板での情報提供
(平成30年秋の実施例)
▲路側看板での情報提供
(平成30年秋の実施例)

中心市街地を巡るバスの運行及びパーク＆ライド駐車場の開設

ぐるっとバス 検索



TOPIC トピック

奈良公園周辺の渋滞緩和を進めています



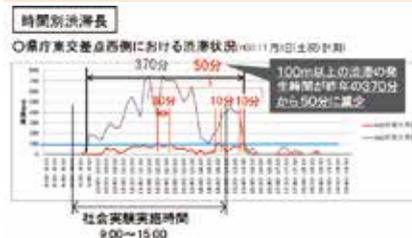
県や奈良市などがともに、奈良公園周辺の渋滞緩和に向けた取組を実施しています（奈良中心市街地公共交通活性化協議会）。昨年度の春期と秋期に、奈良公園周辺へのマイカー流入を抑制するため、パーク＆ライド駐車場利用者へ乗車人数分のバス一日乗車券を無料で進呈し、渋滞緩和を図る社会実験を行いました。結果は、春期と秋期ともに県庁東交差点の渋滞が緩和し、マイカー流入抑制の効果がありました。一方、同交差点東側では従前同様の渋滞が生じており、今後も渋滞緩和に向けた施策に取り組みます。



▲配布チラシ



- 県庁東交差点でH30.11.3に計測した大阪方面からの最大渋滞長は110m(H29.11.3の750mから大幅に減少)
- 100m以上の渋滞の発生時間が370分から50分に減少



TOPIC トピック

奈良公園バスターミナルがオープンします



平成31年4月13日に『奈良公園バスターミナル』がオープンします。これにより、奈良公園中心部への観光バスの乗り入れを抑制でき、周辺での交通渋滞の緩和や公園内の周遊環境が向上します。

◆奈良公園バスターミナルの施設◆

	バスターミナル	ガイダンス施設	おもてなし施設
機能	渋滞を緩和し、公園内の周遊環境を向上	魅力ある情報を発信し、滞在観光を促進	アメニティを向上させ、リピーターを創出
具体的な施設	乗降場 交通コントロール施設	歴史展示 レクチャーホール	飲食・物販店舗 展望の良い休憩スペース トイレ など



▲展示室 完成イメージ

▲情報広場 完成イメージ

(6)サイクリングルート整備

広域的な周遊観光を促進し、滞在型観光の拡大による観光振興・地域活性化を目指すとともに、県民の健康増進や環境にやさしいまちづくり等を進めるために、自転車利用の促進に向けた取組を実施しています。

自転車利用促進に向けた主な取組

- ・京都府、和歌山県と連携した、広域的な自転車道「京奈和自転車道」の整備
- ・県内約600kmのサイクリングルート（愛称：ならクル）における案内誘導・注意喚起のサイン整備
- ・自転車を屋内に保管でき、自転車搬送サービスのとりつぎが可能な「サイクリストにやさしい宿」の認定
- ・サイクリングステーションの整備 など

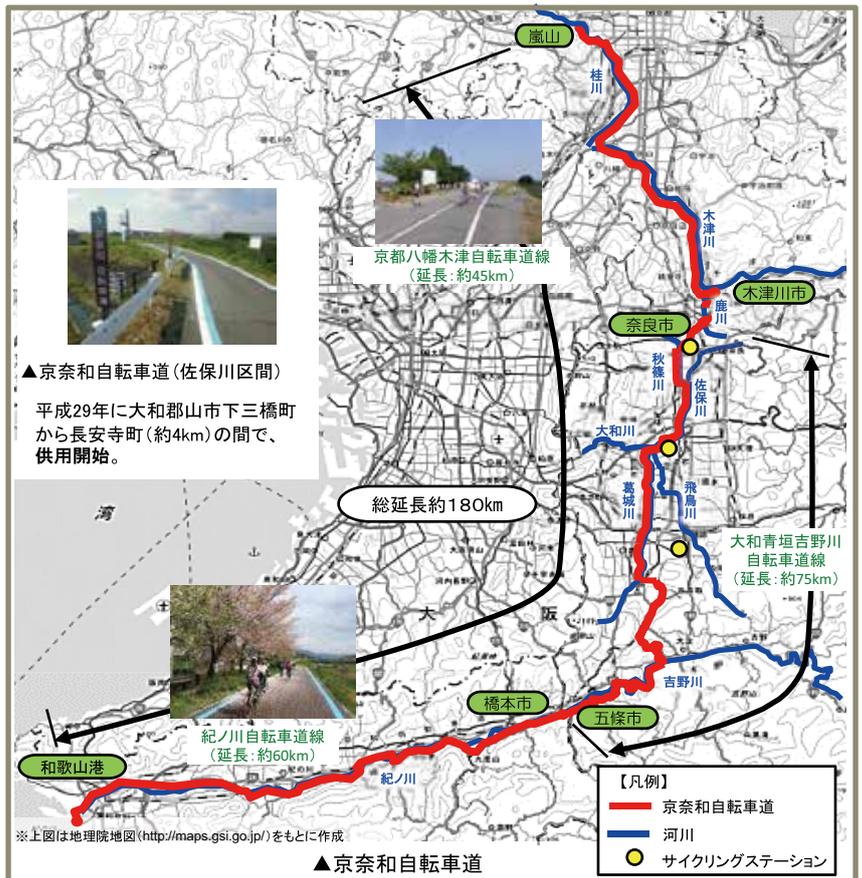


▲「ならクル」サイン整備のイメージ



▲サイクリストにやさしい宿

▲サイクリングステーション
（上：平城宮跡歴史公園）
（下：橿原公園）



(7) 歩行者の安全確保

奈良県安心歩行

検索

奈良県安心歩行空間整備方針(平成23年6月策定)

奈良県では、通学路の歩道整備や駅・病院周辺での歩行空間のバリアフリー化などが遅れています。歩行空間が確保されていない通学路や駅、病院、観光地の周辺道路などについて、安心して通行できる歩行空間の整備を効率的かつ効果的に推進するため、早期に効果が期待できる速効対策の実施や、休憩用ベンチや観光案内サインの充実など、奈良県における歩行空間整備の基本的な考え方やその進め方を取りまとめました。

歩行空間整備の基本方針

- 「選択と集中」により必要性や緊急性の高い箇所を優先的に整備
- 関係者や連携した歩行空間の点検を通じて、県民や来訪者の目線による安心な歩行空間整備を推進
- 早期の効果実現可能な速効対策から取り組み、地域の協力が得られるところについては抜本対策も実施
- 休憩用ベンチや観光案内サインの設置等、歩行環境も一体的に整備

歩行空間整備への具体的な取組

① 歩行空間が確保されていない通学路

- ・市町村が作成する「通学路交通安全プログラム」に基づき抽出された対策必要箇所について、速効対策から着手し、地域の協力が得られた箇所については抜本対策を実施



▲奈良市立田原小学校区での歩道設置

② バリアフリー基本構想における生活関連経路

- ・生活関連経路は、歩道拡幅等の抜本対策を基本とする
- ・基本構想作成に取り組む市町村は、協議会を設置し点検を行った経路について、速効対策を実施
- ・未作成の市町村に対し、県は基本構想作成に関する情報提供や技術的な支援を実施



▲一般県道大和八木停車場線での点字ブロック設置

③ 世界遺産地域等の周遊観光を促進するための経路

- ・世界遺産地域や観光客の多い観光地への経路を対象
- ・関係者との点検により、地域の共通課題の「見える化」を行い、観光客へのアンケートを実施し、面的な観光経路を設定
- ・段差解消等の速効対策や案内サイン等の設置、歩道拡幅等の抜本対策を実施



▲統一された案内サイン（奈良公園周辺）

(8) わかりやすい道路案内

観光案内看板整備

奈良県 観光サイン

検索

観光客のおもてなしを向上するため、県境及び主要交差点での車両系観光案内看板や、各観光エリア内での歩行者系観光案内看板を設置しています。また、平成28年4月に「観光案内サイン整備ガイドライン」を改訂し、県と市町村が統一した基準で観光案内看板設置に取り組んでいます。観光地への的確な誘導及び観光地内でのわかりやすい道路案内を行うことにより、奈良の主要観光地の魅力向上を図ります。

【観光エリア】

奈良公園エリア、平城宮跡エリア、飛鳥エリア、五條新町エリア 他

【観光案内看板設置事例】



◀左：車両系案内看板(主要交差点)
国道165号：香芝市下田交差点付近

右：歩行者系観光案内看板
五條新町エリア内

(9) 交通安全対策

奈良県交通安全対策

検索

国道や県道で発生する交通事故の対策を効率的・効果的に実施するため、警察などと連携して「奈良県みんなでつくる交通安全対策プラン」を策定しました。事故発生の危険性を早期に解消するため、本プランに基づき重点的に取り組んでいきます。

平成29年1月に新たな事故危険箇所48箇所を追加し、対策に取り組んでいるところです。

速効対策の実施例 (道路区域内で可能な対策)

吉野郡大淀町今木(国道309号)



整備前
カーブ区間が連続しており、正面衝突・追抜追越時の事故が多発



整備後
薄層舗装などの注意喚起により安全性が向上

本格的対策の実施例 (道路拡幅等を伴う対策)

北葛城郡広陵町百済(県道田原本広陵線)



整備前



整備後

・歩道の設置
・交差点内 導流標示の設置

TOPIC トピック

図柄入りナンバープレートの交付が始まりました

国土交通省がナンバープレートの多角的な活用推進のため制度化した「地方版図柄入りナンバープレート」の交付が平成30年10月から始まりました。「奈良」ナンバーについても、県内全市町村の同意のもと公募・選抜した図柄を提案し、下記デザインのプレートが交付されています。

奈良県版図柄入りナンバープレートの申込件数は2,138件、全国7位(H31.1.31現在)と好調です。県庁でも公用車を順次、図柄入りナンバープレートに付け替えており、「走る広告塔」として奈良の魅力を全国に発信しています。

※詳細・申し込み方法については、以下よりホームページをご参照下さい。

図柄入りナンバープレート申し込み

検索

奈良県版図柄入りナンバープレート



〈フルカラー〉



〈モノトーン〉

(10) 無電柱化

奈良県は景観の阻害要因となる電柱・電線をなくす「景観の向上」、歩行者の支障となる電柱をなくすことで歩道の幅員を広げる「安全性の向上」、地震や台風による電柱の倒壊によって道路を閉塞させない「防災性の向上」などのために無電柱化を進めています。

【無電柱化の目的や効果】

① 景観の向上

奈良県は歴史的資産が豊富で、素晴らしい景観に恵まれています。景観を阻害する電柱・電線をなくし、さらに美しい街並みになるように整備を推進します。

② 安全性の向上

無電柱化により、歩道の幅員が広くなり、歩行者の安全性や快適性が確保されます。また、高齢者や、車いす利用者、ベビーカー利用者にとっても障害物となる電柱が除去され、より安全で快適な街並み空間となります。

③ 防災性の向上

地震、台風、竜巻などの大規模災害が発生した際に、電柱の倒壊や電線の垂れ下がりによる道路の閉塞、近隣家屋への被害を予防します。

整備前



整備後



奈良生駒線（奈良市二条大路南）

(11) 良好な景観の形成

○ 景観に配慮した道路整備や沿道景観の形成

奈良県は、世界に誇る多くの歴史文化遺産や、それらと一体をなす歴史的風土と豊かな自然環境等を有し、個性豊かな美しい景観が形成されています。道路は、生活や経済活動の基盤であるとともに、景観を形成する重要な要素です。

このため、道路整備に当たっては、「奈良県公共事業景観形成指針」および、景観行政団体である市町村の規定に則り、歴史的なまちなみや自然など、周辺の景観資源に配慮した道路空間の形成を推進しています。また、良好な沿道景観を形成するため、世界遺産にアプローチする幹線道路等については、「奈良県景観計画」において良好な景観形成に重点的に取り組むべき区域と位置づけ、沿道の建築物や広告物等の規制誘導との連携を図っています。

< 奈良県公共事業景観形成指針 >



沿道景観の形成



▲重点景観形成区域（広域幹線沿道区域）の景観形成イメージ

○花いっぱい推進事業

観光立県を目指す奈良県では、来県者への「おもてなし」として、大和の風景を美しく見せる事業をしています。平城遷都1300年祭や全国都市緑化ならフェアの開催を契機に、来訪者の多い観光地や、主要な幹線道路の沿道に、フラワーポットや花壇を設置し、花と緑で来県者をもてなす空間を提供しています。

〈大宮通りでの整備事例〉



▲二条大路南1丁目交差点付近



▲朱雀門前交差点付近



▲二条大路南5丁目交差点付近

○みんなで・守ロード事業

奈良県 守ロード

検索

多くの人々が奈良を訪れる「もてなしの心溢れる魅力ある奈良県づくり」を推進するため、地域住民や企業による快適な道路空間の維持・向上に向けての主体的な取組の育成と継続、活動の支援を図るため「みんなで・守ロード事業」を実施し、自分たちの住む地域を愛し、幸せに感じられる地域づくりを推進しています。

【道路保全プログラム】 ……地域住民・企業の参加

条件 道路延長500m以上の草刈り・清掃活動

利点

- ・草刈り面積1㎡あたり14円の報償費を支給
- ・傷害・賠償責任保険への加入を支援
- ・活動団体名の掲示

実績 参加団体数…79団体（H31年1月時点）



▲取組風景（県道枚方大和郡山線）

【道路美化プログラム】 ……地域住民・企業の参加

条件 道路延長100m以上の清掃活動

利点

- ・ごみ袋・軍手などの物品を支給（5000円まで）
- ・傷害・賠償責任保険への加入を支援
- ・活動団体名の掲示

実績 参加団体数…35団体（H31年1月時点）



▲活動団体名の掲示看板（県道木津横田線）

TOPIC
トピック

大宮通りでイルミネーションを実施しました



▲鹿のイルミネーション



▲奈良中央郵便局前

冬季に奈良県を訪れる観光客への「おもてなし」として、大宮通りのイルミネーションを実施しています。

〔平成30年度実施状況〕

期間：平成30年11月22日(木)～
平成31年 3月14日(木)

場所：奈良中央郵便局前～高天交差点

奈良市

(12) 道路の防災・減災対策

安心みちネットプラン

検索

なら安心みちネットプラン～暮らしをつなぐ道路防災～(平成21年12月策定)

奈良県では、効率的・効果的に道路防災を実施するために「なら安心みちネットプラン」を策定しました。

災害の前兆現象の早期発見による「予防対策」や発災後の地域生活・経済への影響をできるだけ少なくするための「減災対策」、迂回路の有無や斜面の危険度を踏まえた危険箇所の「防災対策」として、以下の取組を実施しています。

災害発生時の情報提供を速やかに実施

道路規制情報やライブカメラ画像、道路情報板表示内容の提供をホームページにより行っているほか、より速やかに周知するため規制情報をメール配信しています。

また、和歌山県・三重県の規制情報と連携した「和歌山・奈良・三重道路規制情報ホームページ」により、広域の規制情報が確認できます。

ライブカメラ設置箇所

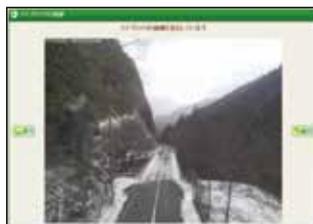
一般国道165号	宇陀市室生三本松
一般国道166号	桜井市粟原
一般国道166号	吉野郡東吉野村鶯家
一般国道166号	吉野郡東吉野村木津
一般国道166号	吉野郡東吉野村杉谷
一般国道168号	五條市大塔町阪本
一般国道169号	吉野郡川上村伯母谷
一般国道369号	奈良市都祁吐山町
一般国道369号	宇陀市室生田口元上田口
一般国道369号	宇陀郡曽爾村掛



▲奈良県道路規制情報HP



▲和歌山・奈良・三重道路規制情報HP



▲ライブカメラの画像

▲検索結果(例)

災害発生時の初動体制の充実

災害発生時の初動体制の充実や前兆現象箇所の速やかな特定のため、安心みちしるべ(道標)の設置を行っています。



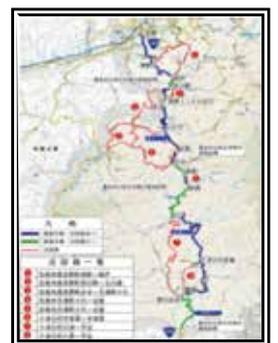
▲安心みちしるべ(道標)の設置

主要な幹線道路の迂回路整備

主要な幹線道路の迂回路を指定し、簡易な舗装修繕や安全対策を事前実施する事で、地域交通のために発災後3日間で迂回路を利用できるように努めます。



▲迂回路整備



▲迂回路図

TOPIC
トピック

台風21号の倒木被害から復旧しています



▲県道 龍神十津川線での倒木被害



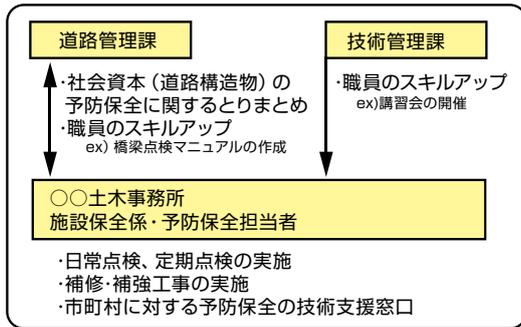
▲応急復旧工事による倒木撤去後

平成30年9月4日に発生した台風21号の影響により、多数の倒木が発生しました。それにより、一時は30箇所が通行止めとなっていました。応急復旧工事により、11月15日に全箇所の交通開放を行いました。

(13) 橋梁の老朽化対策

奈良県内の橋梁の多くは、高度経済成長期の1950年代後半から1970年代前半に建設され、今後、建設後50年を経過することで想定していなかった劣化・損傷の危険性が高まっています。

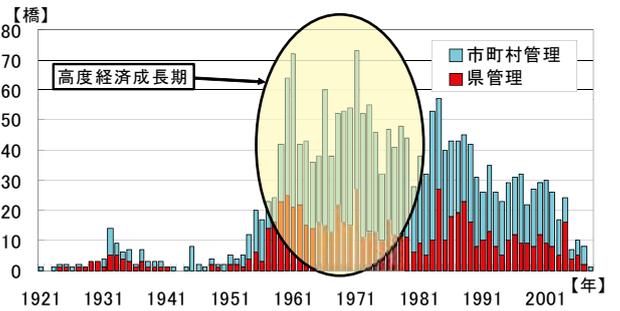
平成26年から5年に1回の橋梁の定期点検が義務づけられ、点検・診断の結果に応じて適切な措置を講じる必要があるため、次回点検までに計画的に補修を進めています。



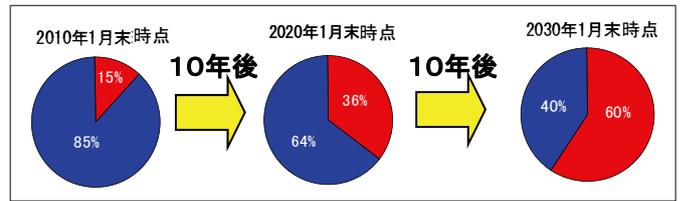
▲県の新たな組織体制

奈良県橋梁長寿命化

検索



▲橋梁の建設時期



▲建設後50年を経過する橋梁の割合

橋梁点検・日常の維持管理の実施

橋梁点検・維持管理を積極的に実施し、損傷の早期発見と劣化・損傷の発生の防止に努めています。



▲橋梁の定期点検



▲集水木の清掃を実施



▲王寺跨線橋（県道天理王寺線）の補修工事を実施

計画的な橋梁補修の実施

橋梁点検により、発見された損傷については、計画的に補修を実施しています。

市町村に対する技術支援の実施

『奈良モデル』として、市町村管理橋梁の安全確保および維持管理の効率化を図るため、技術支援を求める市町村に対して県が業務を受託する「垂直補完」を行っており、これまでに37市町村の支援をしました。

また、平成30年度は奈良県内の道路管理者で構成する「奈良県道路インフラ維持管理連絡協議会」を開催し、維持管理について情報共有や課題解決の連携を図り、職員の技術力向上を支援しています。



▲協議会風景

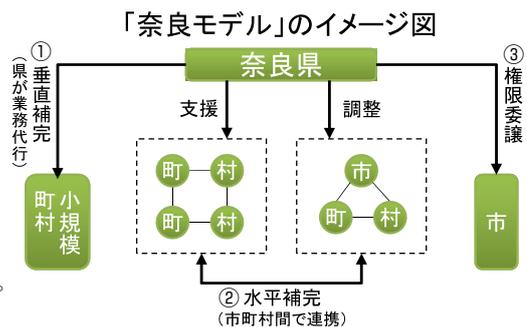
～『奈良モデル』とは？～

奈良県では規模が小さく組織的・財政的に脆弱な市町村が多くあります。今後、住民サービスを維持向上させていくためには、行政の効率化を進めていくことが必要です。そこで、奈良県では、県と市町村、市町村同士の連携・協働を図り、奈良県という地域に最適な地方行政の仕組みを目指す取組である「奈良モデル」を、国に先んじて「地方自治の新しい形」として推進しています。

「奈良モデル」…

県と県内市町村の役割分担を、①～③の観点から進める自治体間連携のあり方です。

- ① 県が小規模な町村を支援したり、業務を受託・代行したりする「垂直補完」
- ② 県が調整し、市町村間で事務の共同処理などをする「水平補完」
- ③ 県からの権限委譲



(14)道の駅

「道の駅」は、安全で快適に道路を利用するための道路交通環境の提供、地域のにぎわい創出を目的とした施設で、「地域とともにつくる個性豊かなにぎわいの場」を基本コンセプトにしています。駅ごとに地方の特色や個性を表現し、文化などの情報発信や様々なイベントを開催することで利用者が楽しめるサービスを提供しています。

3つの機能

「道の駅」は、以下の3つの機能を備えています。

<p>休憩機能 24時間無料で使える 駐車場やトイレ</p>  <p>▲ふたかみパーク当麻</p>	<p>情報発信機能 道路・観光情報 を発信</p>  <p>▲吉野路上北山</p>	<p>地域連携機能 施設を利用した 地域との交流</p>  <p>▲宇陀路室生</p>
---	--	---

県内の「道の駅」

制度発足から20年以上経過し、全国で1,145駅（うち奈良県15駅）〔平成30年4月時点〕が登録されています。



- 1 168 吉野路大塔〔五條市〕
- 2 168 吉野路上北山〔上北山村〕
- 3 169 杉の湯川上〔川上村〕
- 4 300 吉野路黒滝〔黒滝村〕 **特定テーマ型モデル「道の駅」※1**
- 5 165 ふたかみパーク当麻〔葛城市〕
- 6 166 370 宇陀路大宇陀〔宇陀市〕 **重点「道の駅」候補 ※3**
- 7 168 十津川郷〔十津川村〕
- 8 165 宇陀路室生〔宇陀市〕
- 9 25 針TRS〔奈良市〕
- 10 168 大和路へぐり〔平群町〕
- 11 169 吉野路大淀iセンター〔大淀町〕
- 12 368 369 伊勢本街道御杖〔御杖村〕
- 13 166 かつらぎ〔葛城市〕 **重点「道の駅」※2**
- H30.4オープン 14 24 レスティ唐古・鍵〔田原本町〕 **重点「道の駅」候補 ※3**
- H30.9オープン 15 169 飛鳥〔明日香村〕
- 県整備中 ★ 25 なら歴史芸術文化村〔天理市〕 **重点「道の駅」※2**

※1 特定テーマ型モデル「道の駅」…特定のテーマについて、全国の模範となる取組を行い、成果が認められるものとして、国土交通省が認定。
 ※2 重点「道の駅」…地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものとして、国土交通省が選定。
 ※3 重点「道の駅」候補…地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的な取組が期待できるものとして、地方整備局等が選定。

TOPIC トピック

なら歴史芸術文化村が重点「道の駅」に選定されました



▲なら歴史芸術文化村 完成イメージ

平成31年1月、天理市で県が整備を進めている『なら歴史芸術文化村』が重点「道の駅」に選定されました。

重点「道の駅」は、地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものとして、国土交通省が選定し、平成30年度は、全国で15箇所が選ばれました。



(15)市町村と連携したまちづくり

人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者をはじめとする住民が安心できる健康で快適な生活環境を実現することが重要であり、地域性を活かした、賑わいのある住みよいまちづくりを進めるためには、拠点への都市機能の集積や低未利用地の活用など、拠点を再整備することが必要です。

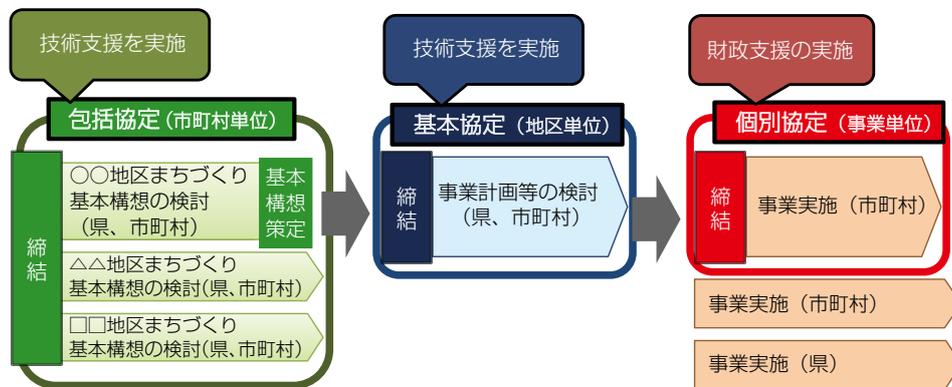
県は広域的な観点から、地域創生に資する駅、病院、社寺、公園などの拠点を中心としたまちづくりを進め、その特色に応じた機能の充実・強化を図るとともに、拠点間相互の連携を強化することによって、県全体として総合力を発揮する都市形成を目指します。

まちづくりに前向きでアイデアや熱意のある市町村において、その方針が県の方針と合致するプロジェクトについては県と市町村で連携協定を締結し、協働でプロジェクトを実施していきます。

奈良県 まちづくり協定

検索

連携協定の進め方 プロジェクトの進捗にあわせ、段階的に協定を締結し、市町村のまちづくりを支援します



包括協定締結市町村 (平成31年1月末現在)



- ・ H26.10.17 天理市
 - ・ H26.11.19 大和郡山市
 - ・ H26.12.22 桜井市
 - ・ H27.1.23 奈良市
 - ・ H27.2.20 五條市
 - ・ H27.3.20 橿原市
 - ・ H27.7.6 大和高田市
 - ・ H27.7.31 高取町
 - ・ H27.8.4 御所市
 - ・ H27.9.17 三宅町
 - ・ H27.10.15 明日香村
 - ・ H27.12.25 宇陀市
 - ・ H28.2.22 大淀町
 - ・ H28.8.2 川西町
 - ・ H28.8.18 王寺町
 - ・ H28.9.2 御杖村
 - ・ H29.2.16 川上村
 - ・ H29.2.27 広陵町
 - ・ H29.3.14 東吉野村
 - ・ H29.3.16 十津川村
 - ・ H29.5.29 田原本町
 - ・ H29.9.28 上北山村
 - ・ H29.10.11 吉野町
 - ・ H30.3.22 斑鳩町
 - ・ H30.4.11 山添村
 - ・ H30.4.11 下北山村
- 計26市町村



▲大神神社参道周辺地区 (桜井市) 参道の整備イメージ



▲五條中心市街地地区 (五條市) 賑わい広場の整備イメージ

TOPIC
トピック

大神神社参道の工事が始まりました



現状



完成イメージ

奈良県では、平成26年に桜井市と「まちづくりに関する包括協定」を締結し、市と協働で大神神社参道周辺地区のまちづくりに取り組んでいます。当地区のまちづくりは、「大神神社の上品な参道づくりと三輪のまちの賑わい創出」を行うことを目標としており、県では、大神神社参道となる県道三輪山線の無電柱化を含む道路整備に取り組んでいます。



桜井市